



# How To Draw Illustration

+α

# はじめまして！



私、53代CG研のここなつ！こっちは初めて描いてみたなかクラ！

先日の公式アドカレを担当し非常にお見苦しいものをお見せした私ですが、こちらの非公式アドカレでは一応本分であるCGのお話、ということで、イラストメイキングをやります。キャラクターは刀剣乱舞の山姥切長義くんです。

また、CG研発表会で宣言した通り、このメイキングで使うイラストでアクリルキーホルダーを作ったので、その一連の流れについてもお話ししたいと思います。

それでは、しばしお付き合いください！

# 1.環境



使用ハード

- ・ iPad Pro
- ・ Apple Pencil

使用アプリ

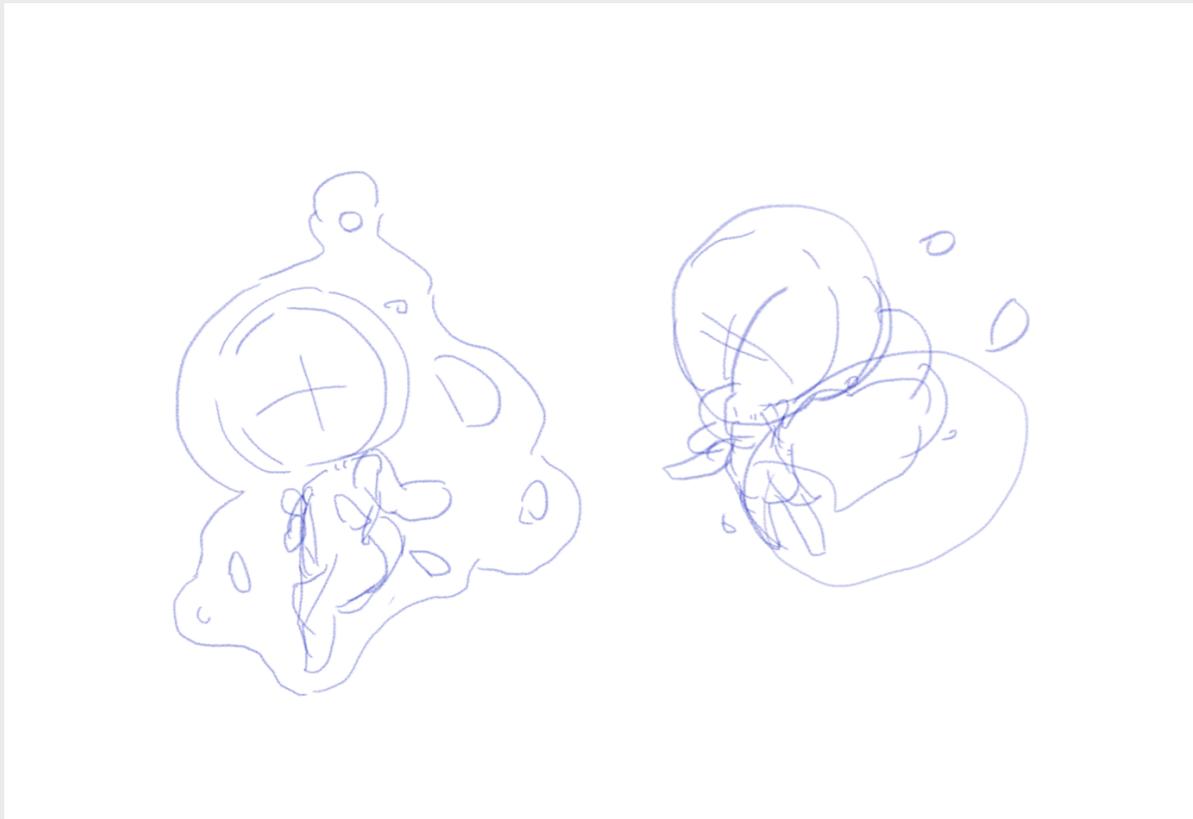
- ・ Clip Studio Paint EX

ClipStudioPaint（以下クリスタ）は有料ソフトですが、六ヶ月の体験版があります。iPadユーザーお絵描きマンは一度お試しを。

カスタムとかはあんまりしていませんが、使用ツール等適宜紹介して行こうと思います。

ちなみに、下書きにProcreateというアプリを使ったのですが、ここは何でもいいので割愛します。

## 2.創案



こんなのが描きたい！というイメージをちっちゃくちっちゃく描きます。ちっちゃい方がバランス取れるので。ほんっつとに軽く、イメージが固まればいいので。背景が付くイラストの場合はそれもかるーく。

今回は二案描いたところでGO出しましたが、場合によってはもっと案を出します。

ちなみに今回は『アクキー風』『梅吹雪』が初期に決定していた部分です。

←キャンバスこんな感じです

### 3.ラフ+下書き



二案のうち左のを採用して先に進みます。今回はデフォルメイラストなので、線画前の下書きは一枚だけで済ませました。頭身高いイラストだともう少し詰めてから線画に入ります。

拡大して下敷きにし、アタリをとってから髪や服等を付けていきます。

ここではそれぞれやり方があると思うのであんまり解説することはないです。

# 4.線画

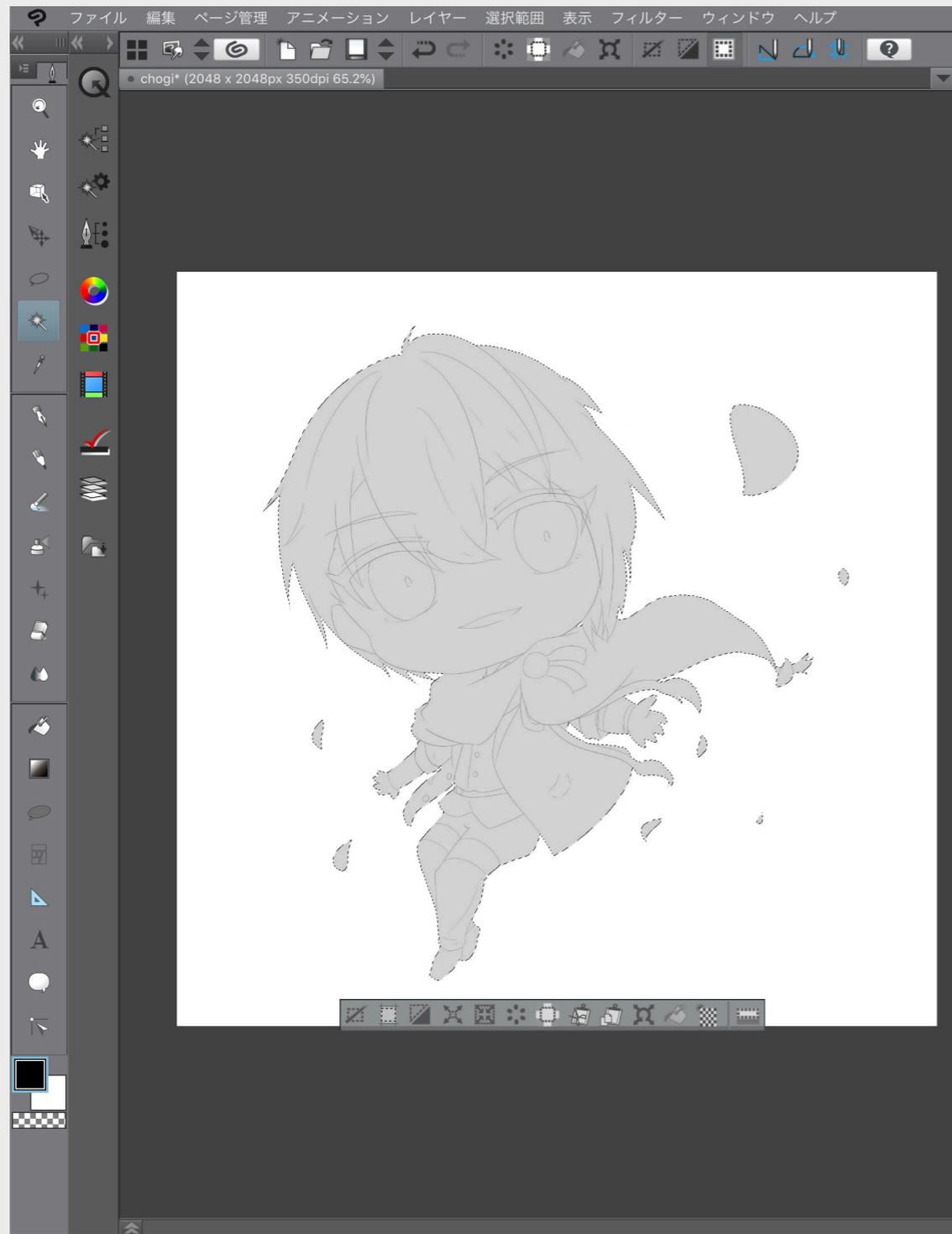


いよいよここからクリスタを使って作業していきます。  
ラフをレイヤーとしてインポートし、ベクターレイヤーに線画を描いていきます。気分でレイヤーを分けながら



使用したペンはデフォルトのGペン。サイズを3にして使っています。  
ベクター吸着は線を1本で引けない人向けです。私のような。

# 4.線画



線画が上がったところで自動選択を使って色を塗り、全体のバランスを見ておきます。この色を塗ったレイヤーから選択範囲を作って色ぬりレイヤーにマスクすることではみ出し防止をします。詳細は塗り分けの項で。

# 4.線画



ベクターレイヤーに図形ツールを使って梅の図柄を置いておきます。

# 5. 下塗り



先ほどの灰色レイヤーから選択範囲を作成し、新規フォルダーに選択範囲外のマスクをかけます。

そのフォルダ内に色ごとにベタ塗りレイヤーを入れ、マスクを設定して、マスクを編集する形で色分けをしていきました。刀紋（メダルの中の意匠）など、細かく色が変わる部分もここで入れました。同様にベタ塗りレイヤーです。

上のレイヤーに重なって見えなくなる部分は手を抜いて、でもちまちまとペンとか投げなわ塗りツール（図形ツール内にあるやつ）で塗っていきます。

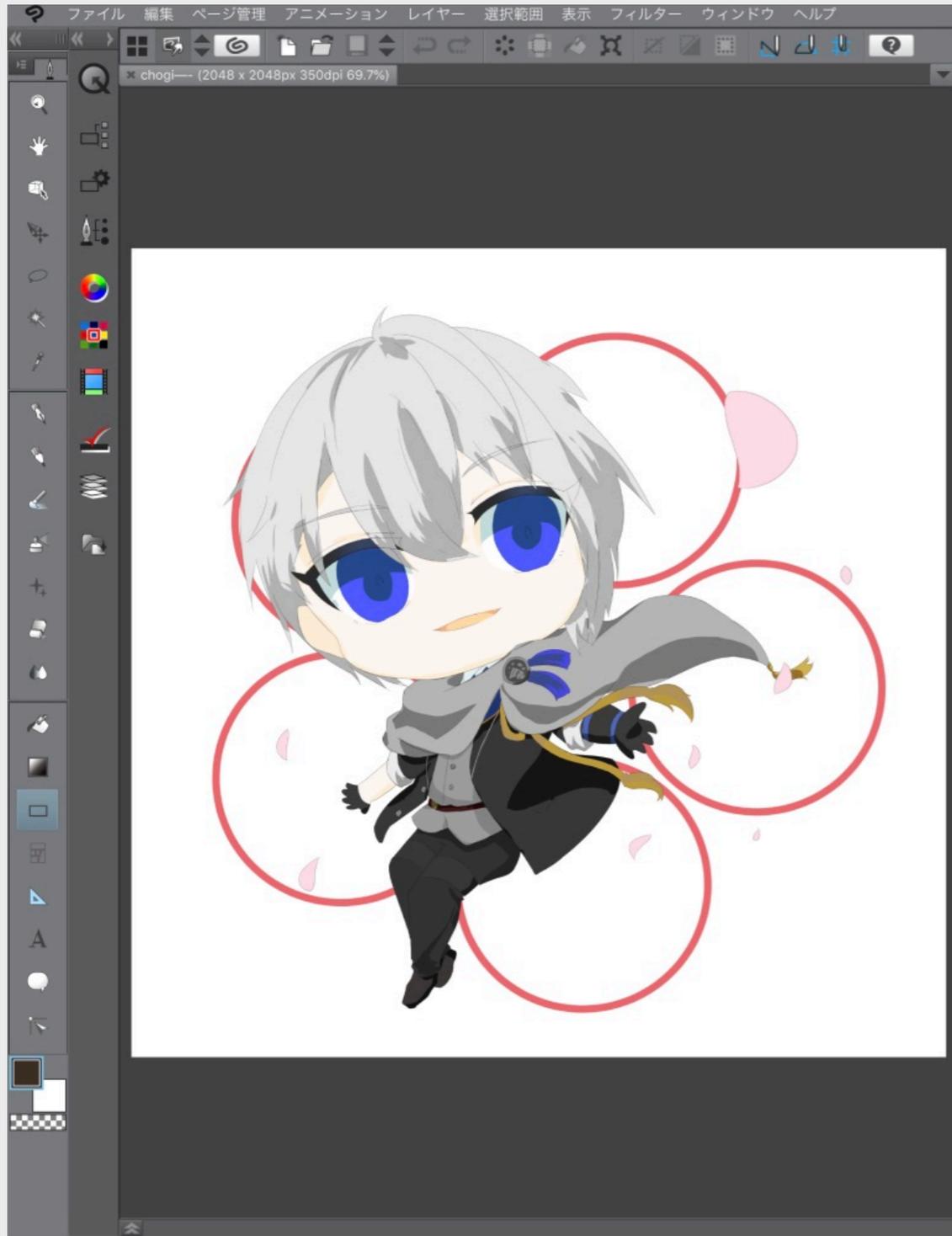
# 6.影ラフ



下塗りが入ったマスク付きフォルダに新たに灰色のベタ塗りレイヤーを作り、マスクを設定して全部見えなくなるようにします。そのレイヤーを乗算にして、罫塗りツールを使って影をこんな感じ?って塗ります。

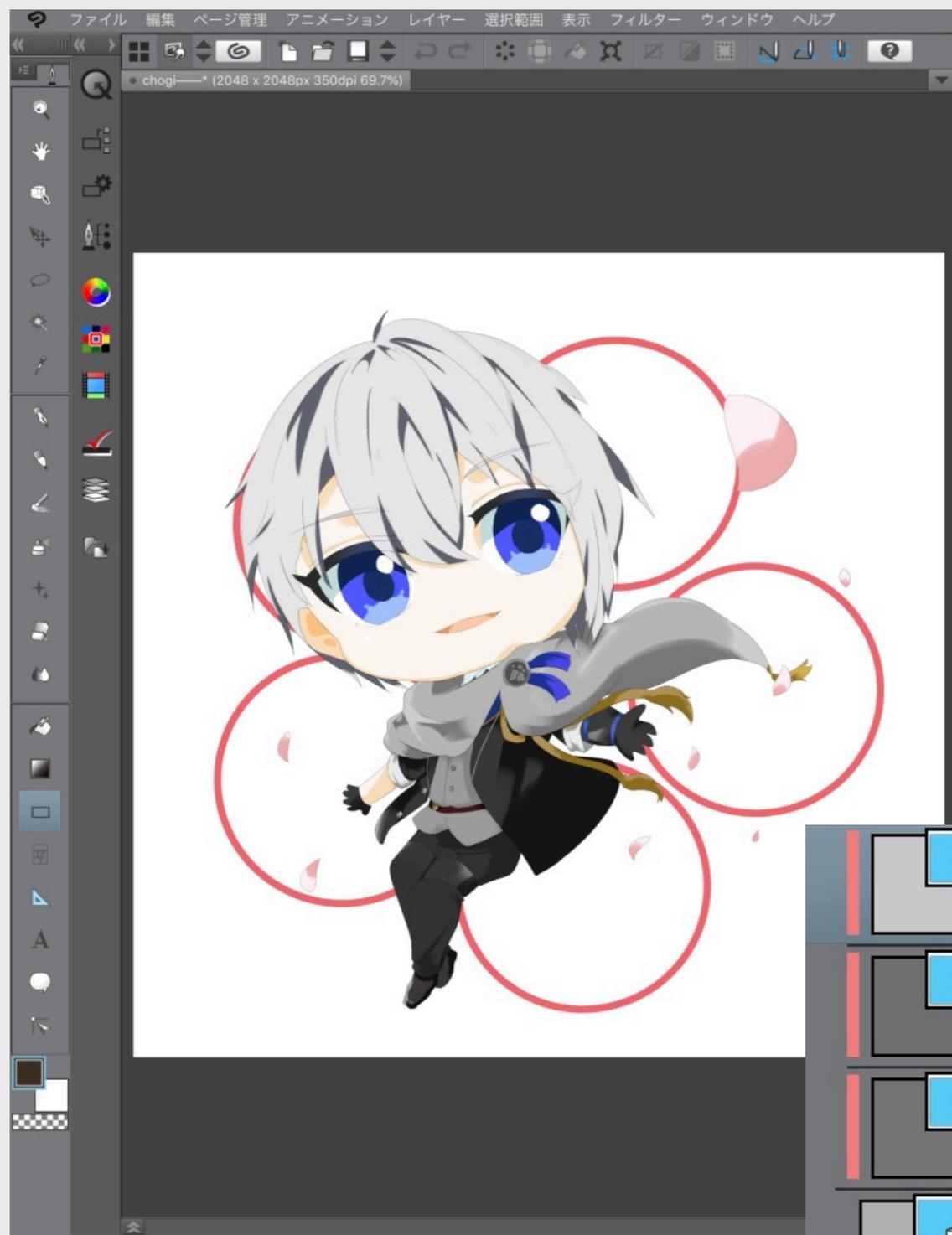
影と影のついていない部分の比率をなんとなく見るためにやりましたが、この後見る影もなくなるかわいそうな影ラフです。

# 6.影ラフ



影ラフレイヤーを下塗りレイヤーの数複製し、それぞれの下塗りレイヤーにクリッピングした後、モードを通常に戻してレイヤーの色を好みの影色に変更した感じでした。全体的に明るめになりました。この影色がそのまま仕上がり影色になります。(一部気分でお亡くなりになる色もありますが)

# 7.塗り



影ラフ通りの影を不透明水彩で伸ばしたり削ったりします。場所によってはもう一段階濃い影（2影）をもひとつベタ塗りレイヤーを追加して作ったりします（耳の穴とか）あとハイライトも下塗りレイヤーの色を白とびさせた感じの色のベタ塗りレイヤーでつけます。

髪の毛の影だけは途中で気分が変わってこうなりました。



一例としてマントはこんな感じ（最終的に使わなかった2影レイヤーが残っていますが）

# 7.塗り



頬、ズボンの下の方、目、髪にエアブラシをかけました。髪のエアブラシは二段構えで、紫がかかった灰色を、明るいところを避けるように髪影レイヤーの下に。肌の下塗りと同じ色を、肌が透けているような透明感の演出として髪影レイヤーとハイライトレイヤーの間に。こちらもベタ塗りレイヤーにマスクの形です。

# 8.仕上げ



塗りの入ったフォルダーの中、一番上に通常レイヤーを作り、モードを加算にします。青でキャラの右上の方にエアブラシをかけてより爽やかにします。私は大して加工ができないのでこれくらいです。

# 8.仕上げ



アクキーにした時線画が目立たないにもほどがあるのでは……？という危惧から、線画レイヤーを選んでオブジェクトツールからブラシサイズを6に変更しました。ちょっと目立つようになりました。

# 9.修正



この後のパソコンでの作業中に防具デザインの間違ひを見つけてちょろっと直してました。あと梅の中をバケツで塗ってました。

完成！



イラストメイキングは以上です！

# アクセキーができるまで

ここからはアクセキーを作った時の流れをまとめていきます。

# 1 a.印刷所選び

まず、印刷所を選びます。

今回の条件は『一つから作れること』『安いこと』。この条件から候補に選んだ印刷所は二つです。比較するとき気にした点を中心にざっとまとめてみました。

- ・ MYDOO

片面印刷で40mm×40mmのアクキーが本体価格360円。カットライン指示をラスターレイヤーで行うためパスが扱えなくても入稿可。配送方法はネコポスか通常の宅急便配達。オプション豊富。

アクキーページURL: <http://mydoogoods.com/products/14>

- ・ ヨツバ印刷

価格はMYDOOと一緒。psdかaiでカットラインをパスで指示する必要あり。配送方法にゆうパケットが選べて更に価格を抑えられる。オプションはあまりない。

アクキーページURL: <https://www.yotsuba-insatsu.com/print/acrylic.php?item=Keyholder>

# 1 a.印刷所選び

……本当はこういう条件から考えようと思っていたのですが、残念ながらこの時期MYDOOさんは小規模注文を断っていました（コミケ前で多忙のため）というわけで、今回はヨツバ印刷さんをお願いしました！

## 2a.入稿データ作成

eyholder\_40-40.psd\* (551 x 551px 350dpi 100.0% : CMYK:Japan Color 2001 Coated) - CLIP STUDIO PAINT

.40-40.psd\*



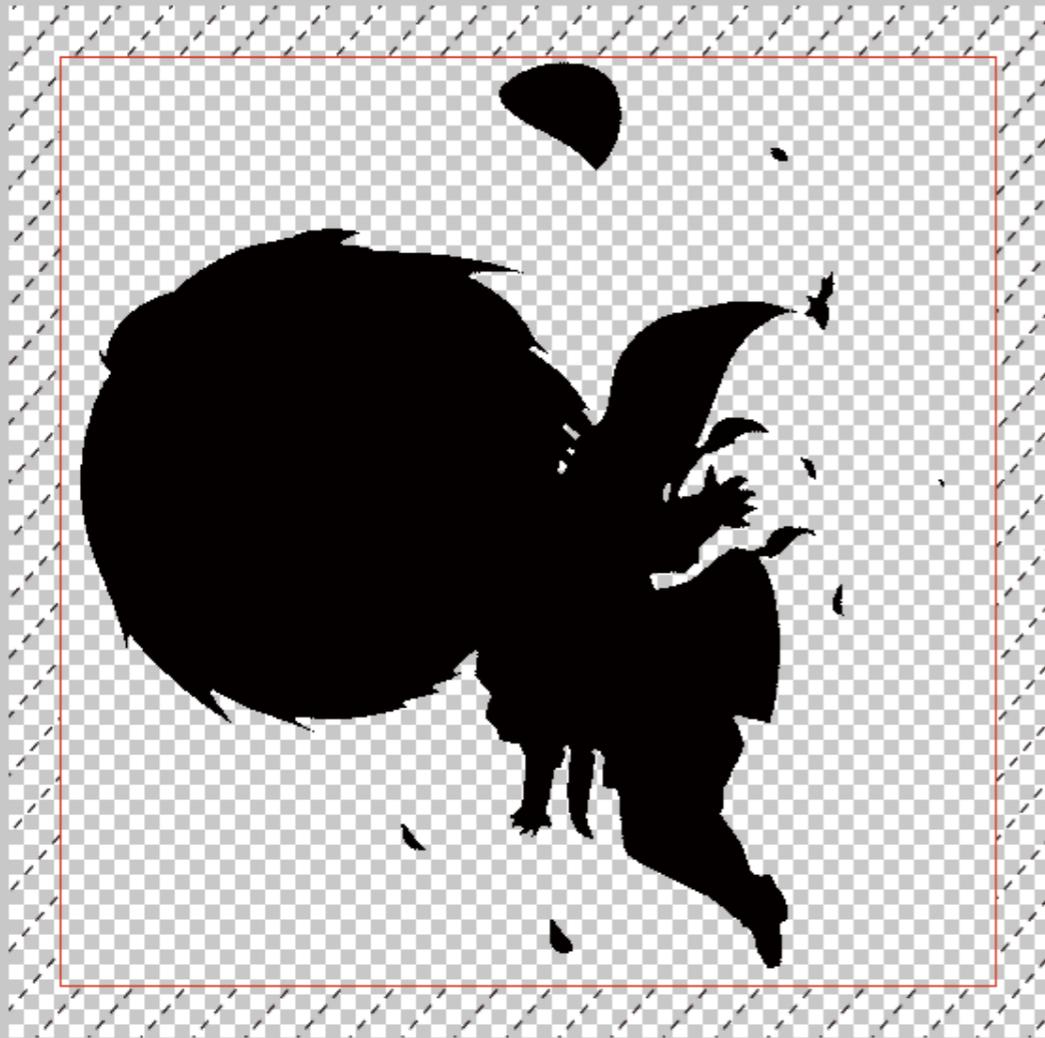
ヨツバ印刷さんのアスキーのページからテンプレを落としてきて、パス部分以外パソコン版のクリスタで編集します。RGB変換するという警告文が出ますが、後でPhotoshopでデータを保存するときにCMYKに変換するので無視してください。

イラストの元データをファイルオブジェクトとして読み込み、枠内ギリギリに収まるように拡大縮小と回転をします。位置決めをしたら、合わせるようにストラップ穴位置レイヤーを移動します。

## 2a.入稿データ作成

eyholder\_40-40.psd\* (551 x 551px 350dpi 100.0% : CMYK:Japan Color 2001 Coated) - CLIP STUDIO PAINT

.40-40.psd\*



元データの塗りフォルダーのマスクをコピーした真っ黒のベタ塗りレイヤーを元データ内に新規作成し、そのレイヤーだけ表示してpngで書き出してから入稿データにレイヤーとして取り込みます。イラストのファイルオブジェクトと同じ倍率、角度にして、レイヤー表現色をモノクロにしてからプレビュー中の表現色を適用することで二値化します。そして選択を駆使してさらに3pxくらい範囲を小さくします。長々書いてますが透けて欲しくなないところをイラストからはみ出ない範囲で二値で真っ黒に塗っておこうということです。画面から分かる通り、梅の部分は透ける仕様で出すことにしました。黒塗りレイヤーを白ベタレイヤーに結合し、ファイルオブジェクトをラスタライズして表面デザインレイヤーにけつごうして、入稿時削除の指示があるレイヤーを消しておけば、クリスタでの作業は終了です。

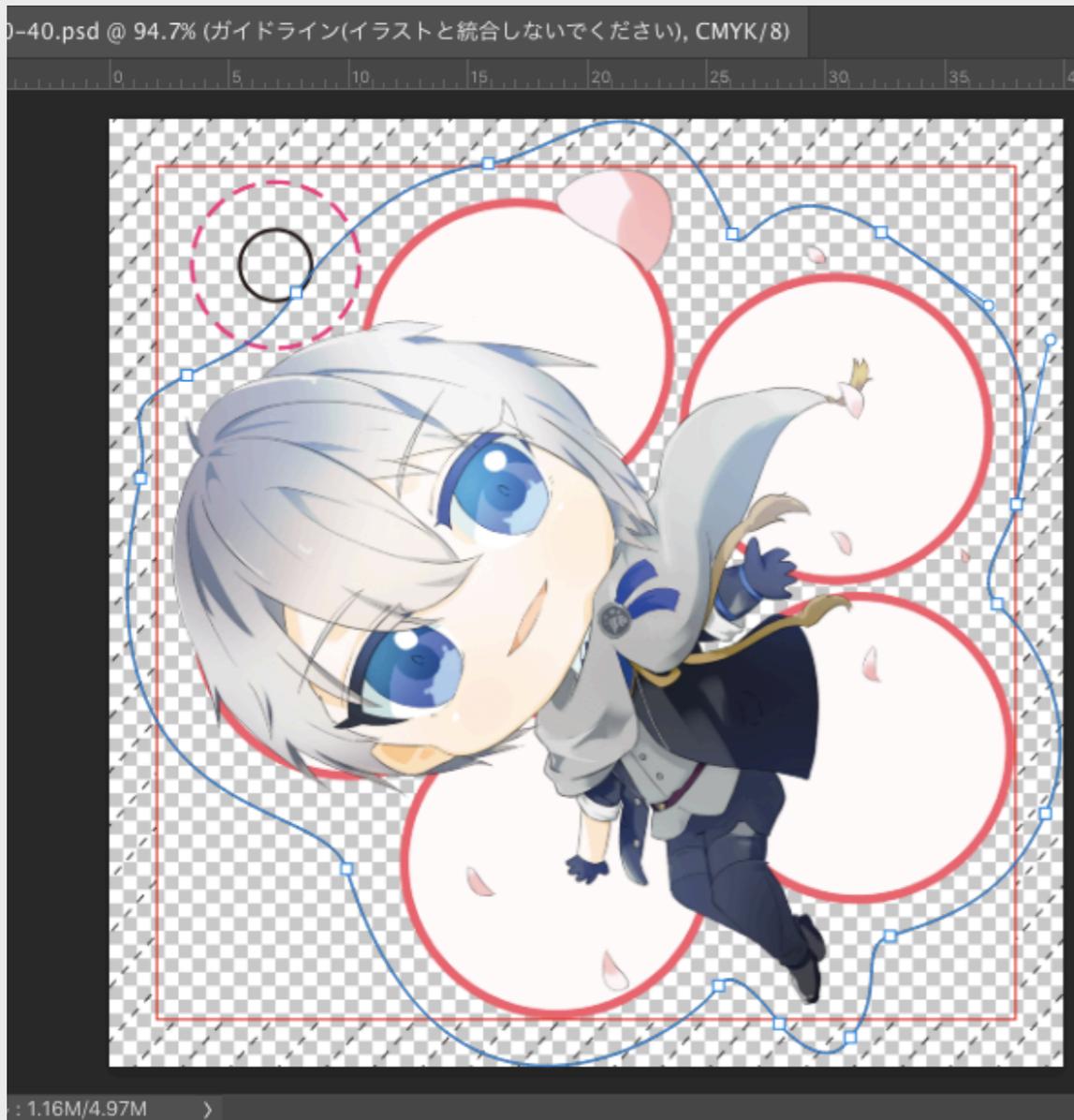
# 2a. 入稿データ作成



The screenshot shows the Adobe Creative Cloud website in Japanese. The main heading is "Photoshop CC をインストール中..." (Installing Photoshop CC...). Below it, a message states: "Creative Cloud デスクトップアプリケーションが開き、Photoshop CC をインストールします。" (The Creative Cloud desktop application opens and installs Photoshop CC). An inset image shows the Creative Cloud desktop app interface with the Photoshop CC installation button highlighted. To the right of the inset, text explains: "インストールが完了したら、Photoshop CC が自動的に起動します。" (After installation is complete, Photoshop CC will automatically launch.) and "Creative Cloud デスクトップアプリケーションは、すべてのアプリケーションをインストールして管理するための便利なツールです。サポートが必要な場合" (The Creative Cloud desktop application is a convenient tool for installing and managing all applications. For support when needed).

このためにフォトショの体験版を入れました。サブスクリプションしか用意しないAdobeに屈したわけではないぞ。

## 2a. 入稿データ作成



作業用パスでカットパスを指示していきます。このベクター線に沿ってアクキーが切られるわけです。

曲線パスツールを使って大雑把に囲んでからハンドルを操作して微調整して作りました。

これでデータとして完成なので、Japan Color 2010 Coatedのカラープロファイルを埋め込んでCMYKに変換して保存しました。

## 3a.入稿

申し込みフォームから入稿します。埋めていきましょう。住所や氏名等を入れて進むと確認画面が出るので、そこでオッケーすると先方にデータが飛んでいきます。折り返し、自動返信で入力したアドレスにデータ受付のお知らせがきます。

今回は局留めで受け取ろうと思ったので、ヤマトの営業所の住所を入れて、電話番号は携帯の番号だけ入力しましたが、通りました。ついに入稿をした高揚感とデータ不備への不安できそじ前日の睡眠時間が消えました。

次の営業日の10時ぐらいにデータチェック完了と振込口座のお知らせがきました。梅の内側の薄ピンクが白として扱われて色が完全透明になること以外は思った通りのものができそうだったので、きそじと六限の間の時間を使って馬場の三菱UFJのATMで振り込みました。

ここで思い出してください。ヨツバ印刷はゆうパケットでの配送が選べます。今回とにかくかかるお金を抑えようという話でした。そして、配送先はヤマトの営業所。

あ

## 3a.入稿

急いで配送先訂正のメールを送りました。次の日は土曜。そして日曜、月曜と、眠れない日々を過ごし夜しか眠れませんでした。

来たる十二月十一日火曜日午前九時前、ヨツバ印刷さんから受付完了のお知らせが——

納品先名：（近所の地名）郵便局留

私は心の底から安堵しました。

納品予定日 2018年12月16日（12/13発送）

**は？？？速くない！？！？**

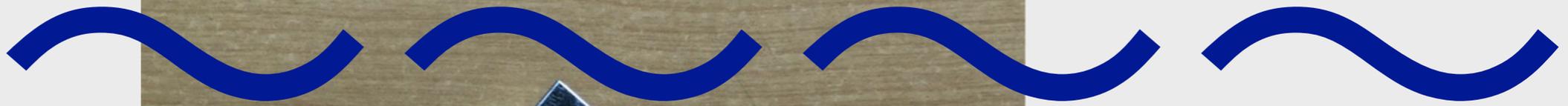
## 4a.納品

十二月十二日、それは思ったより一日早く郵便局に到着していました。

# 4a.納品



あ



## 4a.納品



さっそくUSBに取り付けました。印刷が本当に綺麗です。（思ったよりヒモ部分が短くて結びつけるためには一回環状金具からヒモを取り外したりなんだりしなければいけなかったので、ペンチを使うか別の金具でお願いするかすると思います。）

# 4a.納品

表



裏



## 5a.感想とか注意点まとめ

- 入稿データ作成で注意しなければならなかったなっってこと
  - ・梅の塗りつぶしは薄い色にせず縁と同じ色をべったり塗った方が見栄えがしたと思う。
  - ・下に白塗りをしなければいけない都合上、輪郭が鋭利に尖るデザインはやめておくべきだった。髪の毛なんか透けている。
  - ・髪の毛の飛び出ているのに合わせたカットパスにするよりもっと丸くした方が見栄え的にも良かったかもしれない。
  
- 現物を見て考えたこと
  - ・40mm×40mmではギリギリの大きさに作ってもやっぱり小さい。
  - ・裏面の保護コーティングがオプションとしてもないので耐久面にやや不安がある。

## 5a.感想とか注意点まとめ

一回落ち着いて考えて、以上のような感想を持ちました。毎回Adobeソフトの体験版を落とすわけにもいかないの（GIMP等の手持ちのソフトがPhotoshopの作業用パスについて互換性がないことは検証済み）次回はMYDOOさんをお願いしようかなって思いました。MYDOOさんにはクリアインクで裏面保護するオプションがついてますし。それか、たくさん作るような機会があれば5個以上から受付可能で評判のいい[TRINITYさん](#)とか……。

というような反省点もありつつ、この超低価格（振込手数料合わせて740円！）で、かつこの忙しいであろう年の瀬に超短期間納期で、しかもしかも印刷面には文句なし、というクオリティのヨツバ印刷さんには本当に感謝しています。ありがとうございます。大切にします。

# むすびに

今回はこのメイキング+アクキー制作体験記を見ていただきありがとうございます。堅く行くかオタク構文で行くか迷いまくりのお気持ちですが大体説明できてるかな？大丈夫かな？何かわからないところあったら聞いて????って感じです。メイキングは置いておいて、アクキー制作体験記が誰かアクキーを作りたいよって人の役に立てばいいなと思います。

明日はオダマキさんの『趣味としての献血そしてぎぜん！』だそうです。献血車、そういえばよくキャンパスで見かけますが、献血したことは一回もないですね。献血のお話で本当に来たとしたら参考にして一回行ってみようかなったと思います。楽しみです。

それでは、アドカレが終わってしまうのを寂しく思いつつ、来る十二月二十五日を楽しみにしましょう！  
そう、尾崎一雄先生の生誕祭だからね！

MIS.W 53代 CG研 ここなつ

Twitter: [@palm\\_treeeeee](https://twitter.com/palm_treeeeee)